

平成 25 年度「英語能力判定テスト」における 阪南中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、教育振興基本計画*に基づき、英語イノベーション事業*の一環として、「英語能力判定テスト」を実施いたしました。このテストの目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、学校における英語の指導の改善を図ることにあります。

学習指導要領における中学校英語の目標は、4技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）を総合的に活用できるコミュニケーション能力の育成と示されております。本テストで測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

- 1 目 的
- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
 - (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

2 対 象 大阪市立中学校 全生徒

3 実 施 日

- ・ 3 年 生 平成 2 5 年 1 0 月 2 8 日（月）
- ・ 2 年 生 平成 2 6 年 1 月 3 0 日（木）
- ・ 1 年 生 平成 2 6 年 1 月 3 0 日（木）

4 内 容

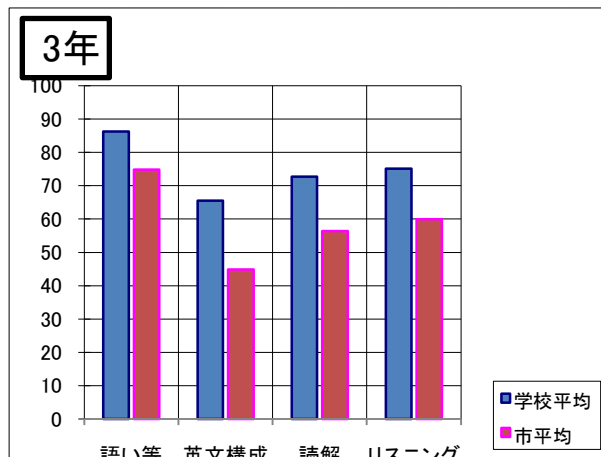
学年	テストの種類	テストの難易度	テスト内容		満点 スコア
			筆記問題	リスニング問題	
3 年	テストD	英検 3～5 級レベル	50 題	30 題	460 点
2 年	テストE	英検 4～5 級レベル	40 題	25 題	400 点
1 年	テストF	英検 5 級レベル	25 題	25 題	340 点

*教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

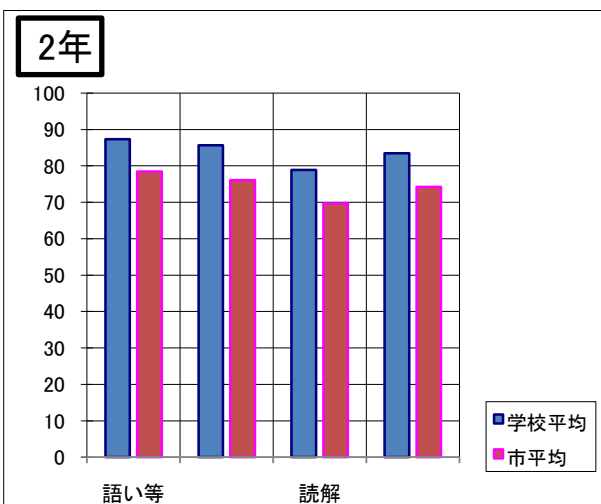
*英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

「英語能力判定テスト」結果(分野別正答率)の概要と今後の取組

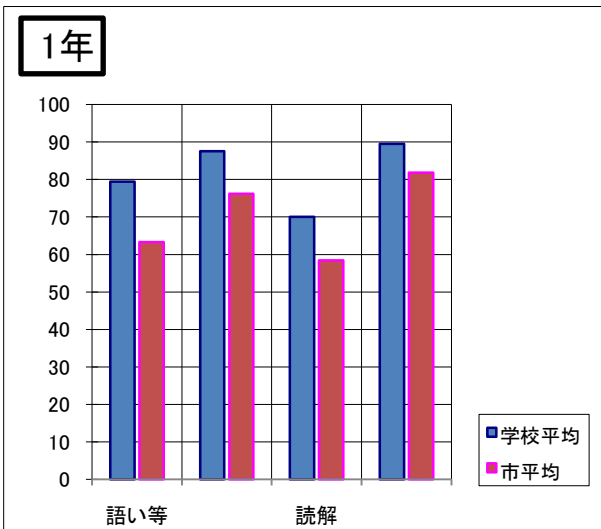
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	86.3	65.5	72.7	75.1
市平均	74.8	44.9	56.4	59.9



2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	87.3	85.7	78.9	83.5
市平均	78.5	76.1	69.7	74.2



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	79.4	87.5	70	89.5
市平均	63.3	76.2	58.4	81.8



結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年 英検3～5級レベル:スコア 0～460点

《結果の概要》

「語い等」「英文構成」「読解」「リスニング」の全ての分野で、市平均より高い正答率であった。その中においては「英文構成」については正答率が低い。

《結果をふまえた今後の取組》

授業での音読、発音等の音声重視の取り組みを深めていく。また、C-NETを活用し、会話能力を向上させる中で、「語い力」「英文構成」の力を伸ばす。

2年 英検4～5級レベル:スコア 0～400点

《結果の概要》

「語い等」「英文構成」「読解」「リスニング」の4分野とも市平均より約10%高い正答率であった。「読解」については、他分野と比較して低い。

《結果をふまえた今後の取組》

「語い等」「英文構成」「読解」「リスニング」の4分野をバランスよく伸ばすことが必要である。長文総合問題を取り入れ「読解力」を向上させるとともに、英作力の向上に取り組む。「リスニング」「スピーキング」の向上に、C-NETを効果的に活用する。

1年 英検5級レベル:スコア 0～340点

《結果の概要》

「リスニング」「英文構成」の分野の正答率は約9割近くと高い一方、「読解」については、7割程度にとどまっている。

《結果をふまえた今後の取組》

「読解力」を向上させるために、基礎的基本的な「語い力」「英文構成力」を高める必要がある。そのために、語順、文法事項、語句に重点を置き復習し、定着を図る。